

環境特集:

日本の森を再生する

ANAグループのカーボン・オフセット

ANAグループでは、CO₂排出量の削減の取り組みを一步進め、お客様と一緒に取り組む地球温暖化防止対策として、カーボン・オフセットプログラムを導入し、日本の森の再生に注力しています。



CSR推進部長 松井 収

環境リーディング・エアラインを目指して

航空機は、現代では必要不可欠な輸送手段ですが、大量の化石燃料を消費し、CO₂を排出するということも事実で、この避けられないCO₂の排出をいかに削減するかが、航空業界では大きな課題となっています。

こうした状況を踏まえ、ANAグループでは環境リーディング・エアラインを目指し、2008年5月に地球温暖化

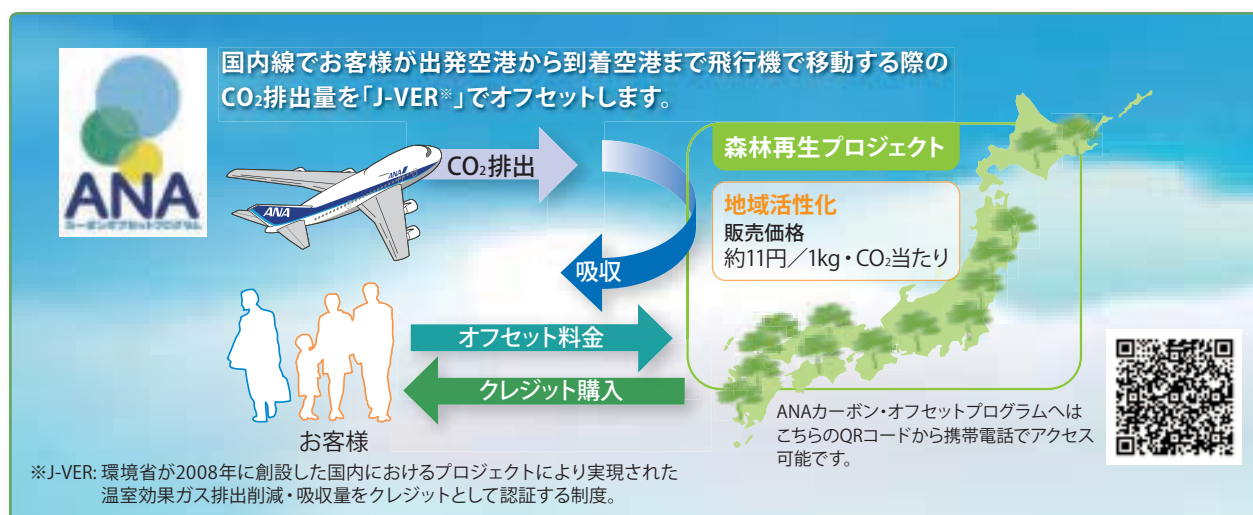
防止を軸とした「ANAグループ エコロジープラン2008-2011」を策定しました。そして、このプランに基づき、2年間集中的に取り組んできた「燃料節減プロジェクト」では、部門横断的に数多くのCO₂排出量削減対策を実行するなど、大きな成果をあげてきました。

しかし、企業側の努力だけではどうしても限界があります。そこで、ANAグループではこうした取り組みを一步進め、お客様とともに地球温暖化防止に取り組んでいく施策の一つとして、カーボン・オフセットプログラムの導入に踏み切りました。このプログラムは、国内線のお客様1人当たりのCO₂排出量を算出し、それをお客様自身にオフセット（相殺）していただくというもので、言い換えれば、お客様にも地球温暖化防止や日本の森の再生へのコスト負担をお願いするという新たな取り組みです。

お客様と環境意識を共有

カーボン・オフセットプログラムは、2009年9月10日に羽田発の主要4路線で先行スタートし、同年10月1日から国内線全便に導入しました。現在の1kg・CO₂当たりのクレ

◆ カーボン・オフセットプログラム



ジット料金は約11円。例えば羽田－札幌線では乗客1人当たりのCO₂排出量が85kgとなり、税込金額942円でお客様にオフセットしていただくことになります。携帯電話から同プログラム専用サイトにアクセスして申し込み、クレジットカードで決済するしくみで、手続き完了後にはご利用のお客様にオフセット証明書が発行されます。

オフセット対象の排出枠となるオフセット・クレジットには、環境省が推進する森林吸収クレジット「J-VER」(Japan Verified Emission Reduction)を採用。このJ-VERを提供するオフセットプロバイダーとしては、音楽家の坂本龍一氏が代表を務め、森林再生プロジェクトなどを行う一般社団法人「more trees」と提携しました。

しかし、現状では、残念ながら同プログラムの利用客はまだ多いとはいえません。開始9カ月時点(2010年5月まで)の実績は約280件、重量にして約23トン程度。景気はいまだ回復途上にあり、お客様にさらなる負担をお願いすることは困難な状況だと思いますが、今後もこうしたカーボン・オフセット制度を社会に定着させていく先駆けとして、さらに工夫をしながら取り組んでいきます。

ANAグループのグループ環境理念には「環境を大切にする心は、私たち自身が地球に負荷をかけていることの自覚から始まります」という一文があります。その自覚をお客様とも共有しながら、環境に対する社会的な関心を高



めていく。ANAグループが環境に対して誠実に前向きに取り組んだ上で、それでもどうしても足りない分については、お客様にもボランタリーの意識で、ぜひ協力していただきたい。運賃に直接上乗せしてお客様に無意識のうちに払ってもらうのではなく、支払いをお客様の意思に任せることこそがこのプログラムのポイントなのです。

環境の見える化を推進

今後の取り組みとして掲げているのが「環境の見える化戦略」です。例えばオフセットで支払ったお金が実際にどこの森を育てているかなどが“見える”しくみになっていると、ご利用になったお客様には森林再生に貢献している実感をもたらし、一方では地域活性化にもつながっていくと思います。

同時に、システムの利便性向上はもちろんのこと、オフセットをマイレージ換算できるしくみなども探っていきたいと考えています。“環境リーディング・エアライン”としてANAグループが取り組むカーボン・オフセットプログラムの今後にご期待ください。

有識者コメント



畑野 浩

カーボン・オフセット
推進ネットワーク事務局
事務局長

羽田空港で飛行機の搭乗を待つ間、携帯電話からANA SKY MOBILEにアクセスし、ANAカーボン・オフセットプログラムのページに飛ぶ。トップページには環境省の制度に基づくカーボン・オフセット第三者認証のCO₂ラベルが表れ、行き先を千歳空港に選択するとCO₂排出量が表示される。その場で簡単にカード決済を行うと、わずか数分でカーボン・オフセットが完了する。

上空からみた日本の景色は、青い空と、緑の森に覆われている。飛行中に排出されるCO₂は、そうした国内の森林による吸収プロジェクトから生まれたオフセット・クレジット(J-VER)によって埋め合わせ(オフセット)され、乗客が支払った費用は、その森の管理にあてられる。

ANAカーボン・オフセットプログラムは、地球温暖化対策や森の再生に加え、雇用創出や地域経済の活性化などにもつながる、大切な取り組みである。

カーボン・オフセット推進ネットワークは、代表理事会社であるANAと共に、CO₂削減の努力をはじめ、カーボン・オフセットの普及に今後も力をいれていきたい。